

RECOMMENDED SHOPS

あの先生の、この「行きつけ」

レストランテ・タントタント (堺町三条)

本格的なイタリアの食とともにイタリアの文化にも触れられるお店。「ワインと料理のマリアージュ」をモットーとしており、料理に合わせたワインの提供はもちろん、お客様のリクエストにも柔軟に応えます。

紹介者 / 上田朋宏 先生 (京都府医師会理事)

イタリア大使館の友人からの推薦や、知り合いの一流ホテルのイタリアンのシェフが河上シェフの教え子だったことから、お店を知りました。大切な客人をもてなす日や私のクリニックの記念日にお世話になるなど、節目節目に訪れています。「タントタント」のお向かいにある「アルトタント」も河上シェフがオーナーをされていて、いろいろな人数、予算で最高のワインに合わせた料理を提供してくれます。イタリアワインを味わうならベスト！(ワイン1300種類、12000本所有/1750年から続く歴史あるワイン蔵)



ご注文時に「アルツト」を見たとおっしゃると、グラスワイン1杯サービス

- 住所 京都市中京区堺町通三条上ル大坂材木町697
- 電話 075-212-1051
- 営業時間 ランチ:11:30~14:30 (L.O.) デイナー:17:00~22:00 (L.O.)
- 定休日 不定休



平成29年度 京都府医師会 研修医事業年間スケジュール

臨床研修屋根瓦塾KYOTO

とき 7月1日(土) / 午後2時~7時(予定) ところ 京都府医師会館 参加費 無料
 プログラム(予定) ■ロールプレイ ■シミュレーションゲーム ■懇親会/メディカルクイズ



申し込みはこちらから

研修医ワークショップ in KYOTO

とき 平成30年2月4日(日) / 午後2時~7時30分(予定) ところ 京都府医師会館 参加費 無料
 チーフタスクフォース 加藤 陽一 氏 熊本赤十字病院 救急部/京都府立医科大学 救急医療部 客員講師
 タスクフォース 京都府医師会臨床研修のあり方に関する検討委員会/若手医師ワーキンググループ
 プログラム(予定) ■パネルクイズ ■シミュレーション(救急Miniシミュレーション/Mass Casualty Mini Drill) ■懇親会

【お申し込み・お問い合わせ】(気軽にご連絡ください) 京都府医師会 学術生涯研修課 電話: 075-354-6104 FAX: 075-354-6074 E-mail: gakujuutu@kyoto.med.or.jp

ごあいさつ 京都府医師会 会長 森 洋一

研修医の皆さん、期待と不安を胸に希望に満ちた毎日が始まりましたね。

京都府医師会は、平成16年に新医師臨床研修制度が必修化されて以降、京都府内で研修する先生方に新研修医総合オリエンテーションを始めとして多くの研修プログラムを作成し指導医の先生方とともに取り組んできました。また、京都府医師会館には本格的なトレーニングセンターと在宅医療トレーニングセンターを設置しており、これらの施設を活かした研修プログラムは全国屈指のものと自負しています。

京都府医師会は「在宅医療・地域包括ケアサポートセンター」を設置し在宅医療を始めとして幅広く地域医療に取り組んでいますし、医療のみならず医師賠償責任保険や低利の融資斡旋制度など会員の福祉にも取り組みを進めております。研修医の皆さんにはお互いの連携を深めていただくとともに医師会に参加していただき、研修をより有意義なものとするともにそのメリットを大いに活用していただきたいと思っております。



ご意見・ご要望、編集委員の応募はこちら



《Arzt》:ドイツ語で「医者」を意味する言葉から本誌のタイトルを取りました。



一般社団法人 京都府医師会
 〒604-8585 京都市中京区西ノ京東梅尾町6
 TEL.075-354-6104 FAX.075-354-6074
 http://www.kyoto.med.or.jp/

研修医・若手医師のための情報誌『アルツト』 Arzt Vol.01 2017年4月1日発行 発行人 一般社団法人京都府医師会 制作 アルツト編集部

Arzt

研修医・若手医師のための情報誌『アルツト』 VOL.01



研修医REAL INTERVIEW

経験と研鑽を日々積み重ね中
 研修医のリアルに大接近!!

EVENT REPORT

「研修医ワークショップ in KYOTO
 ~シミュレーションを通じて仲間と学ぶ~」開催

看護師さん 100人に訊いてみた

あの先生の、この「行きつけ」

一般社団法人 京都府医師会



経験と研鑽を日々積み重ね中。研修医のリアルに大接近!!

希望と期待と不安が、多忙な日々にもふと頭をもたげる研修医生活。ほかの研修先や研修医のこと、気になるあれこれについて、京都府立医科大学附属病院の研修医・坂上 雄先生に聞いてみました。

大学病院ならではの研修メリット

生まれも育ちも長岡京市です。京都が好きで、ずっと京都近辺にいたいという思いは強いです。それが、府立医大病院での研修を決めた理由のひとつではありますね。まあ、卒業大学が府立医大なのですが、2年間、ほかの病院で研修、ということも考えました。市中病院でしかできないことがありますから。でも、ここでしかできないということも多いんです。研修プログラムが魅力的というのもありましたし、やはり大学病院ですから人が多い。目指すべき、というか手本とすべき上級医の先生がたくさんいらっしゃいますし、当然ながら同期も多いです。60人ぐらい。いろいろなタイプの同期が間近で頑張っているのは、とても励みになりますね。

病院内外の研修医仲間たち

研修医になったばかりの頃、救急当番のときに、仮眠のつもりが本気で寝てしまったことがありました。そのほかにも、ちょっとした失敗は数えきれません。看護師さんにフォローしてもらってばかりです。ストレスはたまります。3カ月に1回ぐらい大学時代の友だちと食事するのですが、それははげ口になっているかも。ほかの研修先のことや、自分と同じ科に進む研修医がどんなことをしているのか、やはり気になりますし、知りたいですね。だからどんな症例があったとか、愚痴とか、吐き出してしまいます。楽しいだけではない、プラスになる時間ではないでしょうか。

循環器内科医としての成長に期待

毎日大変で忙しいですが、忙しいのは分かった上で選んだ職業です。長い時間病院内にるのが偉いのではなく、短い時間でパフォーマンスを高める。工夫できる余地はあると思います。オンオフの切替えのできる、そんな上級医の先生もいらっしゃいます。学びたいですね。僕は循環器内科に進みます。たくさん人の生命を左右する科です。何度も怖い目に遭うだろうと思います。でも、急な局面で、周りの人たちに「この先生なら何とかなる」と思ってもらえるような、そんな医師になりたいですね。

ひとまず前期研修を終えた自分に点数をつけるとしたら、80点ぐらいかな。反省点ばかりで、まだまだできないことは多いですが、今後の自分の成長に期待して。

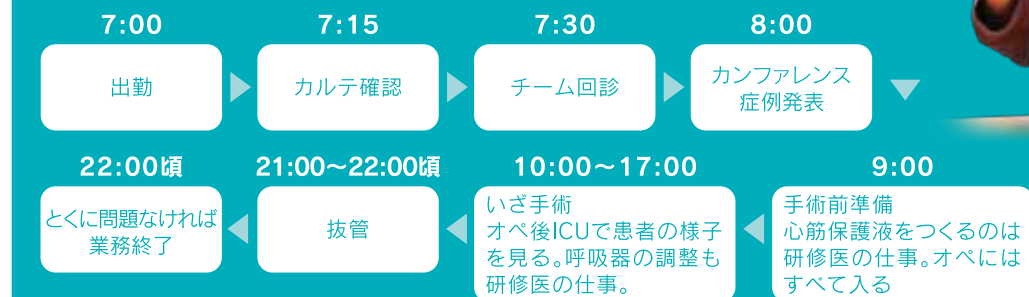
坂上 雄 先生
Yu Sakaue



2015年 京都府立医科大学医学部卒業
府立医大病院は京阪神のおもな市中病院でのたすきがけ研修も特徴。市立福知山病院での研修の際には福知山マラソンに初チャレンジ。4時間28分で完走。中学2年から続けている競技かるた(四段)にももう少し時間をかけたいところ。患者、看護師、医師を問わず名前を呼ぶことを大切にしている。

心臓血管外科研修中のある一日

最もハードワークだが、最も手技をさせてもらえる、盛りだくさん(?)な2ヵ月間。



坂上先生のちょっといい話

公立南丹病院での研修中、頻脈発作を起こした台湾人観光客にたどたどしい英語で対応したことがあったとのこと。後日、台湾からお礼の手紙をいただき、とても嬉しくありがたく受け取られたそうです。

「研修医ワークショップ in KYOTO ~シミュレーションを通じて仲間と学ぶ~」開催

2017年1月22日(日)、「研修医ワークショップ in KYOTO」が開催されました。本企画は「研修医のための勉強会」として3年前から始めたもの。医学的知識の習得はもちろん、隣の病院の研修医がどのような研修を行い、どのような実力を持っているのかを感じ合えるイベントです。指導するのは、熊本赤十字病院救急部の医師であり、京都府立医科大学救急医療学教室客員講師である加藤陽一先生と若手医師グループからなるタスクフォース。参加者たちは5チームに分かれ、症例を通じた救急の課題にチャレンジ。クイズやシミュレーションなど「チーム力」がカギとなるいくつかの課題に、頭と体をフル回転させて取り組んでいました。熊本の震災に学ぶ「大地震シミュレーション」も行われるなど、明日からの研修に役立つ、実り多い一日となりました。

参加者の声

- ◆研修医同士で協力を求められるMissionがあったのが良かった。
- ◆実践的な災害医療は学ぶ機会が少ないので学べて良かった
- ◆他院の研修医と協力して活動でき、楽しく学びの多い時間を過ごすことができ良かったです。また参加したいです。
- ◆災害時の対応については、今までレクチャーを受けたことがなく、とても新鮮でした。いざ京都で災害が起きたらと思うと身が引き締まりました



加藤陽一先生から

「研修医ワークショップ in KYOTO」には府内各地から多くの研修医の皆さんが集まってくれます。主催するスタッフも所属病院の枠を超えて様々な医師が、「京都の医師を育てる、明日の医療を良くする」という合言葉のもとにその力を結集します。このような取り組みは、実は全国的にみても先進的です。是非このチャンスを活かして、お互いを刺激し合い、ネットワークを広げて一歩一歩前に進んでいきましょう。

看護師さん 約100人に訊いてみた ダイジェスト版

看護師やコメディカルスタッフの目に研修医はどんなふう映っているんだろう。好かれる研修医ってどんなだろう。気になることいろいろ、看護師さんに質問してみました。

研修医に対して期待することは何ですか？

- | | | |
|----|--------------|-----|
| 1位 | 挨拶をきちんとする | 63人 |
| 2位 | 報告・連絡・相談をする | 57人 |
| 3位 | 何事にも一生懸命 | 38人 |
| 4位 | 分からないことを人に聞く | 37人 |
| 5位 | 自分の間違いを素直に謝る | 36人 |
- その他 ●礼儀正しい ●誰に対しても平等、同じ態度 ●清潔感がある ●笑顔で明るい ●付き合いやすい性格、気軽に話せる 等

全体的に、研修医や看護師間のコミュニケーションの取り方に関する回答が大半を占めました。一般企業においてもよく言われる《ほうれんそう(報告、連絡、相談)》は、病院においても重要なポイント。人の命を預かる立場の人間として、普段の何気ないコミュニケーションが大切。業務を円滑に進めていくには、しっかりと意識して取り組むことが重要でしょう。

「これだけはしないでほしい」と感じた事は？

- こちらに伝達なしで血培を一人で取って不潔になっていた。一言、声をかけてくれたら手伝うのと思いました。
- 電話の対応が雑になる。
- 対応悪い、雑用などを頼むと機嫌が悪い。
- 上級医に確認せずに指示を出す、または知らないと言う。
- 態度が大きく、威圧的な対応・言葉使いの悪さ。
- 治療や指導に関わる事などを患者さんに聞かれた場合、適当な返事をしないでほしい。看護師・PT等と相談しながら進めていることもあるため(食事やリハビリなど)安易に許可せず上級医や看護師にも一度確認してほしい。当日に決まった検査や処理などは必ず看護師にも伝えてほしい。

よかった、ナイスジョブと思った事は？

- 上の先生が全くなくて、担当者以外の薬も出してくれた。
- とても忙しい時に、薬のオーダーなどを担当の患者ではないのにしてくれた。
- 他の医師に嫌なことを言われて泣いていた時に、フォローしてくれた。
- 朝の採血を手伝いに来てくれた。
- 緊急の検査出しを一緒にしてくれた。
- 疲れた時や、大変な時に声をかけてくれた。
- 看護師の指示が入らずDrの指示は聞いてくれる患者さんに対し助け舟を出してくれた。